

## ブハーリン、ソコリニコフ、ラーリンの評価

九八 ア・ア・ヨッフエへ

一九一八年六月二日

同志ヨッフエ！ ソコリニコフとブハーリン、それにたぶん、ラーリンがそちらに行く\*。この機会を利用して、君に二、三注意しておきたい。私は、いま出発者たち（ラーリンを除く）の会合に出ていて、「ヨッフエが外務人民委員部をベルリンへ移そうとしている」のに反対だという言葉を目にしている。

君とチチェリンとの反目は、時とすると、それを激化させるという意味で、つまり激化させる方向で利用されている——意識的というよりも、むしろ無意識的にだが。

君が慎重にふるまって、この反目を激化させることのないようにするものと信じている。君のいろいろな手紙を注意ぶかく読んでみて、この反目がたいしたものではないと確信した（どこにも混乱があり、どこにもだらしなさがある、つまりあらゆる人民委員部にあるし、この弊害を治すにはひまがかかる）。辛抱よく根気よくやれば、反目もおさまるだろう。チチェリンはすばらしい働き手だし、君の方針はブレスト条約をまったく忠実に実行している。私の考えでは、君はすでに成功をおさめている——だから、われわれは反目を容易におさめることができるだろう。

ドイツ人の商人どもが、戦争にうったえてはわれわれからなにも取るものがなく、われわれがなにもかも燃やしてしまうだろうということを理解して、経済的利益を計ろうとするなら、君の政策は今後も成功をおさめるだろう。われわれはドイツ人に原料をあたえてもよい。事が重要なばあいには、君の正確な要求の写しを送ってよこしたまえ。なるべく早く直通電話を手配したまえ。

ブハーリンは忠実ではあるが、度をこして「左翼愚劣主義」におちいつてしまった。ソコリニコフはまたもや道を踏みはずした。ラーリンはおちつきのないインテリゲンツィア、一流の失言屋だ。だから、これらのすてきな、すばらしいうえにもすばらしい代表団員にたいしては慎重なうえにも慎重を期したまえ。ソコリニコフはきわめて貴重な働き手だが、ときには（いまがちょうどそれにあたるが）「どうかする」ことがあるし、筋道のおおらないことから「ぶちこわしをやる」ことがある。もし君が予防措置をとらなければ、彼はそちらでいろいろぶちこわしをやるだろう。ところでブハーリンのほうはその三倍も輪をかけるだろう。用心したまえ！

クラシンとハネツキーが実務家として君を助け、万事がうまくいくようにねがっている。

お手紙に同封されているものはありがとう。もっと送ってくれたまえ。 ごきげんよう。

レーニン

二伸。

注意。ドイツで捕虜にされたロシアのポリシェヴィキ (Zivilgefangene ——非戦闘員の捕虜のこと)のうちには、ベルギーで捕えられたブリュッセルのポポフがいた。彼を見つけてだして君のところで使えないものだろうか？

三伸。

至急便で——ただし郵便によらずに——同封のものをスイスへ送るようやってみてほしい。

ベルリンあて

事項訳注P631

\* ソコリニコフ、ブハーリンおよびラーリンは、ドイツと経済協定を結ぶ交渉にあたるソヴェト代表団員として、ベルリンへ派遣された。

第44巻『ア・ア・ヨッフエへ』P81～83  
1959年に『レーニンスキー・ズボールニク』第36巻にはじめて発表  
手稿によって印刷